

神奈川県知事 黒岩 祐治 様

県民の声を反映させて、脱炭素社会の実現を

2024年1月15日

2023年、わたしたちは、観測史上もっとも暑い1年を経験しました。しかし、その暑さは「序の口」と専門家が警告しています。

このような現実を受けて、このたび県内で気候変動に対して活動している団体がより連携して神奈川県の脱炭素を進めるために、「かながわ脱炭素市民フォーラム」を結成しました。それぞれの地域が、つながり、活動することで、神奈川県の脱炭素、カーボンニュートラルの実現により大きな前進をもたらすことが目的です。

設立前ではありましたが、わたしたちは、現在改定作業中の「神奈川県地球温暖化対策計画」改定素案のパブリックコメントに意見を提出してきました。

とくに、以下の2項目について、最終案に反映させていただきますようお願いいたします。

1) 太陽光発電設備の設置義務化を早期に実現してください。  
太陽光発電設備の設置義務化に賛成します。改定素案では、「先行自治体における実施状況等を踏まえ、設置義務化の必要性や効果等について検討」となっています。ぜひ、より明確な表現にして、義務化の検討を速やかに進め、義務化を早期に実現させてください。

2) 建築物の断熱性能を国よりも高い基準で設定してください。  
「神奈川県地球温暖化対策計画改定素案」には、ZEB・ZEHの普及および省エネルギー改修の促進とあります。気候危機を回避するための「1.5°C目標」をまもるため、建築物の断熱性能を国よりも高い基準(断熱等級6以上など)で設定してください。

この2つが実現することで、各自治体ならびに、神奈川県の脱炭素が、より現実的になります。昨年12月26日に開催された神奈川県環境審議会では複数の委員が太陽光発電設備の早期実現を求めています。また、先日1月9日の黒岩知事による横須賀三浦地域での対話会でも、地球沸騰化の時代、対策は待ったなしとおっしゃっていました。ぜひ、そうした声を政策に反映させていただきたく、お願いいたします。

2024年1月15日

かながわ脱炭素市民フォーラム 参加者一同